

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援 HIKARIE5th		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年 12月 17日		2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢や発達段階の異なるお子様が一緒に活動しているが、個々のニーズや課題に応じて活動のねらいを明確に持ち、支援を行うことができている。	集団としてのまとまりを意識し、一緒に活動できる楽しさを経験できることを大切にしている。その上で、お子様一人ひとりの実態や成長に合わせた課題を把握し、個々のねらいを明確に活動を行っている。活動内容の計画時や指導前後に打ち合わせや振り返りを行い、より効果的な支援方法の検討を行っている。	送迎や懇談の際の保護者様とのコミュニケーションを丁寧に行いながら、お子様の実態や課題について情報共有を行っていく。また、効果的な支援が行えているか、定期的に振り返りを行い、支援の方向性や今後の課題について検討し、指導員間の連携強化を図っていく。
2	保護者様と送迎時に対面でお子様の様子について情報共有を行ったり、連絡用アプリを活用して活動のねらいや内容、お子様の姿についてわかりやすくお伝えしたりすることができる。また、保護者様と事業所の間で連絡事項のやり取りをスムーズに行えるように環境を整えている。	日々の活動の様子を文章の記録だけでなく、写真も交えることで、事業所でのお子様の姿をよりわかりやすくお伝えしている。スケジュールや連絡事項はアプリを活用することで、保護者様にも随時確認いただける環境を整えている。	一人ひとりが課題に対して取り組んでいることや、その進捗・成果をお伝えしていく。また事業所以外の、家庭や園でも取り組めるような、かかわり方や環境設定の工夫についても情報共有を行っていく。
3	保護者の希望に応じて、園との連携を図り、家庭・園・事業所間で支援の方向性について共通認識を図り、日々の活動内容に生かすことができる。	園を訪問してお子様の活動時の様子を見学し、園の先生と話をすることで、実態把握や課題の共有を行っている。その上で、今後の支援の方向性や連携方法について保護者様とも共通認識を図っている。	継続的に園との連携を行い、支援状況の進捗確認や今後の課題について共有を行っていく。それぞれの場所でお子様ができるようになったことや成長したところなどのポジティブな側面も共有し、お子様に合った支援方法を積極的に取り入れていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のほかの子どもたちとの交流等、地域に開かれた事業運営。	お子様の年齢や発達段階により、安全への配慮から事業所内での活動を主に設定しているため。	お子様の実態に合わせて、安全面を十分に考慮したうえで、提供できる地域交流のかたちを検討していきます。
2	保護者同士で交流できる機会の設定。	事業所にお越しいただくこと、お子様の支援時間等を考慮し、保護者様と事業所間でのスケジュール調整の難しさがあるため。	保護者様同士が交流できるような機会について検討を行っていきます。
3			